



今月はALT(アシスタント・ランゲージ・ティーチャー)のトーマス・ロジャーズ先生に、読書の思い出についてお話し頂きました。

The first book I remember reading as a child was about various night time scenes. It had beautiful pictures of the countryside and the city. I can still remember many of those pictures.

I also remember when I was about 8 my father read me and my brother the "Lord of the Rings" trilogy. It took about 8 months but was I really enjoyed it. It was like I had discovered a whole new world. My father read to me every night until I was about 10 years old.

After this I would rent books from the library myself. My favorite was probably about a boy called "Johnny Briggs" who used to have many adventures in his home town. I liked it because Johnny's hometown and my hometown were a lot a like, so I could imagine having the adventure myself.

子どもの頃に読んだ最初の本と言えば、いろいろな夜景の本でした。その本には、きれいな田舎と街の絵が描かれていました。私は今でもその絵を思い出します。

また、私が8歳の頃、父が、私と弟に『ロード・オブ・ザ・リング』の3部作を読んでくれたことも思い出します。その本を読み終わるまでに8ヶ月くらいかかりましたが、本当に楽しかったです。それは、まるで全く新しい世界を発見したようでした。父は、私が10歳になる頃まで、毎晩、本を読み続けてくれました。

その後、私は自分で図書館で本を借りるようになりました。私のお気に入りの本は、確かジョニー・ブリグズという名前の少年が生まれ故郷で、たくさんの冒険をする話です。私とその本を好きだったのは、ジョニーと私のふるさが良く似ていたので、私自身がジョニーの冒険をしているかのように想像することが出来たからです。



(ALT Thomas Rogers)

7月に読み聞かせを行った絵本

7月6日(金)

〔参加児童数:約60名〕

- ①ないた (村中 季衣/作、川端 誠/絵)
- ②しりとりするものよといで【紙芝居】(樋口 通子/作・絵)
- ③たなばたものがたり(舟橋 克彦/作、二俣 英五郎/絵)
- ④ねえ、どれがいい?(ジョン・バーニンガム/著、まつかわまゆみ/訳)

7月13日(金)

〔参加児童数:約70名〕

- ①ないた (中川 ひろたか/作、長 新太/絵)
- ②しりとりのたいすきなおうさま【大型絵本】(中村 翔子/作、はたこうしろう/絵)
- ③ぼく、たんごむし(得田 之久/文、たかはしきよし/絵)
- ④となりのせきのますたくん(武田 美穂/作・絵)



読み聞かせに来てくれる子ども達の数がどんどん増え、最近はいつも50人以上の子ども達が集まってくれます。とても嬉しく思う一方で、全員になかなか声が届かないことが気になっていたところ、今月から生活科室(1棟3階)を『読み聞かせの部屋』としてお借りすることになりました。

- ①お話の間は静かに聴く。
- ②生活科室への出入りはお話とお話の間にする。という二つのルールを守り、集まった子ども達が絵本や紙芝居にこれまで以上に集中できているように感じます。

提出してもらった6月の読書カレンダーの集計を行いました。今月も1年生が特にたくさん(約7割)提出してくれていました。1年生に人気の本は「くりとぐら」シリーズでした。

8月の読書カレンダーも本日、配布しました。夏休みの“10分間読書”の取り組みに、是非ご活用下さい。

7月と8月の読書カレンダーは2学期にまとめて回収します。

★★今月のおすすめ絵本★★

今月のテーマは“外国の絵本”です。

低学年(1、2年生)

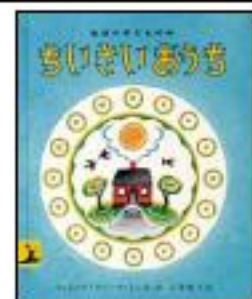


◎全国学校図書館協議会選定
◎全米図書館協会選定
☆この本は学校図書館にあります。

いたずらをして暴れてお母さんに怒られたマックスは、夕ご飯抜きで寝室に放り込まれた。するとよきよき木が生えて、いつのまにか寝室は森の中。航海の果てに、マックスが着いた島、それは、かいじゅうたちのいるところ……。子供の頃に感じたワクワク感や想像の世界を、芸術性の高い絵と素晴らしい構成で描いた傑作です。

『かいじゅうたちのいるところ』
モーリス・センダック/作・絵
じんくう てるお/訳
富山房 定価 1,470円

中学年(3、4年生)



◎全国学校図書館協議会選定

静かな田舎に、小さなお家が建っていましたが、まわりに工場ができ、高層ビルが建ち……。このお話には、この家を取り巻く、時の移り変わりがゆっくりと描かれています。文明の発展が壊してしまうもの、失わせてしまうものを心に染み込ませるように教えてくれる絵本。大人も一緒に読んでほしい作品です。

『ちいさいうち』
バージニア・リー・バートン/作・絵
石井 桃子/訳
岩波書店 定価 1,680円

高学年(5、6年生)



◎全国学校図書館協議会選定
☆この本は学校図書館にあります。

南フランスの山奥の不毛の地に、ただ一人何十年の間黙々と木を植え続け、森を蘇らせた男。その不屈の精神を感動的につづる物語絵本。

破壊をもたらすのも人間だけれど、それを修復し、素晴らしい創造をすることができるのも人間である。
押切もえさんが安部首相にプレゼントしたという絵本。

『木を植えた男』
ジャン・ジオノ/作
フレデリック・バック/絵
寺岡 襄/訳
あすなろ書房 定価 1,680円

図書だよりが広徳小学校のホームページに掲載されています。是非、カラー版もご覧下さい。
http://www.kita9.ed.jp/koutoku-e2007_tosyo/index/2007_tosyo.index.htm